

都市再生整備計画 事後評価シート
沼津駅周辺地区

平成27年3月

静岡県沼津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	沼津市		地区名	沼津駅周辺地区		面積	252ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	112.0百万円	国費率	0.34				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	【公園】杉崎町3号公園新規整備事業 【高質空間形成施設】狩野川右岸修景事業									
			提案事業	-									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	①【公園】中央公園改修事業 ②【高質空間形成施設】七通線修景事業		削除/追加の理由		①本公園の活用方法について、市の商工振興部局、また各種イベント主催者と協議を行っているが、意見の集約や方向性の決定に不測の期間を要したことから、本整備計画期間内における実施が困難となったため。 ②関連事業である連続立体交差事業が停滞していることにより、現状では本事業の実施は困難なため。					
			提案事業	①【地域創造支援事業】静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業 ②【まちづくり活動推進事業】将来のまちづくりに係るWS(沼津駅周辺地区)		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		①本事業は公園利用の促進に資する事業のため、「中心市街地の歩行者数」の数値に影響があると考える。 ②本事業は、沼津駅北地区と駅南地区の回遊性及びまちの魅力向上に資する事業のため、「中心市街地の歩行者数」の数値に影響があると考える。					
	新たに追加した事業		基幹事業	【公園】杉崎町2号公園新規整備事業									
			提案事業	①【地域創造支援事業】三園橋アンダーパス整備事業 ②【事業活用調査】事業効果分析事業		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		杉崎町2号公園予定地の周辺では、区画整理による住宅の建設が進み定住人口が増加しつつあることから、ふれあいのある環境づくりを目指し地域住民が安らぎを感じる交流空間である公園を整備するため。 ①交通環境の充実と利便性の向上を図るため。 ②沼津駅周辺地区の事業効果を分析し、今後のまちづくりの検討を行うため。					
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	指標1	中心市街地の歩行者数	人/日	75,112	H21	(変更後) 62,000 (当初) 76,700	H26	63,887 (H24)	77,841	○	あり	東部コンベンションセンター整備事業や土地区画整理事業などの整備の進展が歩行者通行量増加に寄与したものと考えられ、目標を達成した。	-
	指標2	多目的展示イベント施設の利用者数	人/年	421,000	H20	500,000	H26	-	294,453	×	あり	「キラメッセめまづ」の利用者数は、評価値が休止期間(H23.3～H25.6)直後の計画であり、また、併設の施設が開業(H26.7)前であることの影響等があり、目標を達成できなかった。	H27.8
	指標3	中心市街地の居住者数	人	22,357	H21	(変更後) 23,550 (当初) 23,850	H26	22,537 (H25)	22,377	△	あり	沼津駅南周辺土地区画整理事業等に遅れが生じていること等から、目標達成には至らなかった。しかし、沼津市全体の人口が減少しているなか、中心市街地の人口はわずかながら増加に振れている。	H27.8
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	その他の数値指標1	事業実施箇所周辺の歩行者数	人/日	23,252	H21	/	/	20,572 (H24)	28,622 (H26)	/	/	事業実施により都市環境の魅力が向上し、歩行者通行量が増加した。	-
	その他の数値指標2	地区住民1人当たりの公園緑地面積	m ² /人	1.87	H21	/	/	1.92 (H25)	1.94 (H26)	/	/	公園の新規整備により、1人当たりの公園緑地面積が増加し、ふれあいと憩いの空間として利用されており、中心市街地の魅力向上につながった。	H27.8
	その他の数値指標3	多目的展示イベント施設の稼働率	%	68.2	H20	/	/	68.3 (H25)	95.0 (H26)	/	/	全体の利用者は減少しているものの、増設した施設によって少人数利用なきめ細かい利用が可能となり、施設全体の稼働率が向上するとともに、市民の多様な交流・ふれあいに寄与した。	H27.8
4)定性的な効果発現状況	・アンダーパス整備による歩分分離により、歩行者の安全性が確保されている。 ・河川沿岸の修景事業により、都市環境の向上が図られている。 ・土地区画整理事業により、安全な歩行者空間の確保と防災性の向上など、県東部の交流拠点として相応しい魅力ある都市空間の形成が図られている。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等								
	モニタリング	平成25年度にモニタリングを実施し、計画の変更状況、実施事業の進捗状況、指標の達成状況の確認を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-								
	住民参加プロセス	「中心市街地活性化協議会」を中心に、事業者・地域住民・行政などの関係者が本市の中心市街地が抱える課題や問題点を共有する中で、中心市街地の活性化に関する各種取り組みを進めていく。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		中心市街地再生計画の策定にあたり、住民アンケートを実施し、今後の中心市街地再生の方向性を決定する。								
持続的なまちづくり体制の構築	「中心市街地活性化協議会」を中心に、事業者・地域住民・行政などの関係者が本市の中心市街地が抱える課題や問題点を共有する中で、中心市街地の活性化に関する各種取り組みを進めていく。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		中心市街地活性化協議会の活動は平成26年度で終了予定。今後は中心市街地再生計画(計画期間:平成27～36年度)を今年度末を目途に策定予定。									

様式2-2 地区の概要

沼津駅周辺地区(静岡県沼津市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
駅周辺地区の魅力ある都市空間の創出による拠点再生 目標1 「まちの顔」となる駅前拠点を再整備し、魅力ある中心市街地を形成する。 目標2 交通環境の整備により、駅周辺の利便性向上を図り、利用しやすいまちづくりを創出する。 目標3 「交流空間」の整備により、ふれあいのある環境づくりを行う。	中心市街地の歩行者数	単位:人/日	75,112	H21	62,000	H26	77,841	H26
	多目的展示イベント施設の利用者数	単位:人/年	421,000	H20	500,000	H26	294,453	H26
	中心市街地の居住者数	単位:人	22,357	H21	23,550	H26	22,377	H26



まちの課題の変化

・公園の整備の推進等により、住環境の向上、防災性の確保が図られている。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

・次期計画として、都市再生整備計画「沼津駅周辺・北部地区」を策定予定。
 ・次期計画では、沼津駅周辺における土地区画整理事業や公園等の整備を実施することで、市の中心部において回遊性が高く、魅力ある市街地空間を創出し、市街地の活性化を図る予定。